

今号の主な記事

- ◇阪急神戸線以南で  
ごみ収集日程が変わります ……6面
- ◇第3次行政改善実施計画の取組状況…3面
- ◇介護予防特集 ……4面
- ◇妊婦健康診査の費用助成が変更 ……5面



平成20年度の主な施策

# 市民満足度の高い まちづくりを展開

今、地方行政は地方分権の進展により、自主的、自立的な取り組みが求められており、西宮市においても限られた資源を最大限に活用し、市民満足度の高いまちづくりを行う必要があります。

中核市として新たな道を歩み始めるにあたり、「西宮」のこれまで歩んできた道をもう一度みつめなおし、これからのあるべき姿を市民の皆さんと共に考え、誰もが住みたい住み続けたいと願う個性豊かな文教住宅都市「西宮」の実現に向け、全力をあげて取り組みます。

## 市長からのメッセージ

入園式や入学式、あるいは入社式などが市内各地で行われ、夢や希望を胸に新生活の第一歩を踏み出された市民の皆さんも多いと思います。本市もこの4月1日に「中核市」としての新しいスタートを迎えました。

私は、この門出の年にあたり「輝く未来へ 文教住宅都市・西宮」を台言葉に、これからの社会を担う子どもたちの笑顔輝くまちづくり、そして高齢者や障害のある人も、すべての人が住みたい、住み続けたいと願うまちづくりを進めてまいります。浜脇小学校の校舎の建て替えなどを進め、児童数の増加にも重点的に取り組みます。また国際社会で活躍できる人材育成のために、生きた英語力を身に付けてもらえるような取り組みも始めます。安心して子育てができるように相談業務などの子育て支援サービス充実を行います。先日、高齢者や子どもたちが安心して暮らせるように、青パトによる防犯パトロールも始めました。

今後、市民の皆さんや議員の皆様と力を合わせ、安全で魅力あるまちづくりを全力を挙げて取り組みます。



山田知市長

### 夢はぐくむ教育のまちづくり①

#### ●浜脇・高木小学校の校舎等を建て替えます

(10億1061万円)

児童急増による教室不足を解消するため、平成20年度から21年度にかけて、老朽化している浜脇小学校については給食室を含めた校舎の全面改築を、高木小学校については北校舎の改築を行います。

両校とも、エレベータを設置しバリアフリーを実現するほか、屋上緑化など環境に配慮するなど、子どもたちの快適な学校生活を送る場をめざします。また、耐震性を確保し、緊急時の避難所として、市民の皆さんが身近に感じる校舎を目指して事業を進めます。

### 子育てしやすいまちづくり

#### ●子育て総合センターの時間延長など

(7309万円)

子育て総合センターを、昨年度まで休館日であった月曜日と祝日にも開館するとともに、相談事業の受付時間を延長し、利用者の利便性を図ります(12面別掲)。

#### ●子育てに関する夜間・休日電話相談窓口を開設

(262万円)

子育てに関して孤独感、不安感、負担感をもつ保護者からの相談をいつでも受けられるように、夜間、休日の子育て電話相談窓口を新たに開設します(9面別掲)。

### 安全・安心なまちづくり

#### ●小学校等の校門に警備員を配置します

(6344万円)

学校の安全・安心対策として、小学校と特別支援学校の校門に警備員を配置します。

#### ●防災行政無線システムを整備します

(1億3244万円)

災害時における情報伝達のスピードアップ化、および通信手段の途絶時に対応するための施設整備等を行います。

↑引き続き2面に  
主な施策を紹介しています